

おおふなと 社協だより

ふれあいネットワーク



2018年11月号

【特集】子どもたちの夢を支える

教育支援資金…2～3

音声訳「オープンハート」第14回朗読会……4

上山東アパートのサロン活動……4

末崎小学校福祉教育出前講座……5

ボランティア養成講座要約筆記教室……5

お知らせ……6～7

輝き人……8

今月の表紙

かしわざき ふくさぶ ろう ま さ こ
柏崎福三郎さん・マサ子さん

ひさし くみ
寿さん・久美さん

こうじ さえ つむぎ
紘治さん・冴さん・紘くん(3歳)



進学する人や 受験を控えている人に 知ってもらいたい

子どもたちの 夢を支える

教育支援資金



○生活福祉資金とは

生活福祉資金貸付制度は、低所得世帯に対する民生児童委員の「世帯更生運動」をきっかけとして昭和30年に制度化された公的貸付制度です。

経済的な課題により安定した日常生活を営むことが困難な世帯に低利子または無利子で資金を貸付することで、経済的な自立を促し、生活を安定させることを目的としています。

そのため、資金貸付による一時的な問題解決を図るだけではなく、世帯全体の自立と安定につながるよう、相談支援も行います。

○貸付世帯の対象と資金種類

貸付世帯の対象は、次の世帯です。

- ① 低所得世帯
- ② 障がい者が属する世帯
- ③ 高齢者（65歳以上）世帯
- ④ 生活保護世帯

また、貸付資金種類については次の5種です。

- ① 総合支援資金
- ② 福祉資金福祉費
- ③ 福祉資金緊急小口資金
- ④ 教育支援資金
- ⑤ 不動産担保型生活資金

ただし、資金種類によって、対象世帯が異なります。（図1参照）

また、申請から入金まで概ね10日〜14日かかります。

【図1】生活福祉資金の種類と内容 *のある資金は、民生委員の調査書が必要です

資金名	対象世帯	借入目的の例	貸付限度額	貸付利子	備考	
総合支援資金	低所得世帯	生活再建するまでの生活費	(単身)月額15万円以内 (複数)月額20万円以内	年1.5% (連帯保証人を立てる場合、無利子)	・失業等給付、生活保護年金等の他の公的給付金を受けている場合は対象とならない ・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の利用が必要	
		住宅入居費	住宅の賃貸契約のための経費			40万円以内
		一時生活再建費	生活再建するために一時的に必要な経費			60万円以内
福祉費*	低所得世帯 障がい者世帯 高齢者世帯 生活保護世帯	・引っ越しするための経費 ・起業するための経費 ・葬祭費 ・免許取得のための経費 ・自家用車購入のための経費	580万円以内		・見積書が必要	
緊急小口資金	低所得世帯 障がい者世帯 高齢者世帯	・公共料金支払い後の生活費 ・初任給までの生活費 ・給与盗難後の生活費 ・ライフライン維持のための経費	10万円以内		・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の利用が必要	
教育支援資金	低所得世帯 生活保護世帯	・高校、大学、専門学校等へ就学するための経費	(高校)月額3.5万円以内 (高専)月額6万円以内 (短大)月額6万円以内 (大学)月額6.5万円以内	無利子	・日本学生支援機構奨学金(第1種奨学金)で賄えない場合	
		・入学準備のための経費	50万円以内			
不動産担保型生活資金*	高齢者世帯	・生活費	土地評価額の70%以内	年3%	・居住建物を担保とする	

緊急小口資金は、約1週間で入金されます



○返済は計画的に

生活福祉資金貸付制度は低利子または無利子で借りることができ、貸付ですので返済義務が生じます。

また、申請時に設定した返済期間を超えた場合は、元金に対し年5%の延滞利子が発生することになります。

他の民間ローンと同様に、慎重に返済計画を立てた上で申請する必要があります。

○教育支援資金を有意義に利用するために

8月以降、大学のAO入試や推薦入試が始まり受験シーズンが本格化してきました。進学には、学費や生活費等多額の費用がかかります。代表的な奨学金制度を実施している独立行政法人日本学生支援機構によると、7人に1人が奨学金を利用して、奨学金を利用して進学することが一般的になりつつあります。

しかし一方で、奨学金が卒業後の人生の大きな負担となっていることが社会問題になっています。奨学金を無理なく利用、返済ができるようポイントを押さえておく必要があります。

志望校を吟味しましょう

進学先を選ぶ際に、さまざまな理由があると思いますが、学費も低額なも

のから、高額なものまで様々です。

将来何の職業に就きたいか、その進学先でなければいけないのか、世帯としてどの程度の資金が必要になるか等、しっかり家族で話し合っておくことが大切です。

不測の事態も想定しておきましょう

日本学生支援機構奨学金には償還不要の給付型と無利子の第1種、有利子

【図2】教育支援資金と他制度との優先順位

順位	実施機関	相談先	償還	利子
1	日本学生支援機構給付型奨学金	所属学校（予約奨学生） 大学等の学生課	無	
2	日本学生支援機構第1種奨学金	所属学校（予約奨学生） 大学等の学生課	有	無
3	教育支援資金	お住まいの 社会福祉協議会	有	無
4	日本学生支援機構第2種奨学金	所属学校（予約奨学生） 大学等の学生課	有	有

教育支援資金は、こちらです。



の第2種の3種類があります。申請

後、急遽進学先の変更や他の奨学金の決定状況次第では学費等の捻出が必要になる場合もあります。不測の事態を想定しておくことも必要です。

また、教育支援資金申請に際し、日本学生支援機構奨学金との優先順位があります（図2参照）。第1種奨学金を申請していない場合は、入学後申請していただくこととなります。

自分が受けられる奨学金を調べましょう

現在、日本学生支援機構奨学金や教育支援資金の他、進学先や行政独自の奨学金等多くの奨学金制度があります（図3参照）。要件を満たすことで返済不要のものもあります。卒業後の返済負担を少なくするために事前に調べておくことをおすすめします。

いろんなところに相談することから始めましょう

進学を希望されている家庭はもちろんのこと、これから進路を決めようとしている家庭は特に事前に様々な機関に相談しておくことをおすすめします。しっかりと資金計画を立てていくことが安心して進路に向かっていくことにもつながります。

【図3】代表的な奨学金一覧

実施機関	相談先	償還	利子
母子父子寡婦福祉資金	お住まいの広域振興局	有	無
国の教育ローン	日本政策金融公庫	有	有
大船渡市育英奨学金	公益財団法人大船渡市育英奨学会	有	無
岩手県看護修学資金	在学する学校養成校		
岩手県市町村医師養成修学資金	岩手県国民健康保険団体連合会	有	無
岩手県医療局医師奨学資金	岩手県医師支援推進室		
岩手県医師修学資金	岩手県保健福祉部医療政策室	(要件を満たした場合無)	

奨学金の実施機関はこんなにあるんだね！



笑いあり、涙あり

音声訳「オープンハート」第14回朗読会



10月28日(日)、音声訳「オープンハート」の第14回朗読会が福祉の里センターにて開催されました。

オープンハートは、視覚に障がいがある人の支援を行うボランティア団体で、市の広報や社協だよりなどを音声訳して届ける活動や、外出やイベント時の移動支援を行っています。

この日の朗読会には、岩手県視覚障害者福祉協会大船渡支部



9つの「家族」にまつわるお話が披露されました。

や祥風苑の入所者を招待し、今回のテーマである「家族」にまつわる物語やエッセイの朗読を披露しました。

朗読を披露した会員は3か月前から練習を重ねてきたとこの中で、朗読が始まると一気に話の中に引き込まれ、頭の中にはその情景が浮かび、朗読会が終わっても会場は余韻に包まれていました。

朗読会後は懇親会も開かれ、参加者からは「1人で何役も声色を変えるのが素晴らしいかった」と感想があげられたほか、東日本大震災の遺族が描いた絵本「ハナミズキのみち」の披露もされ、自身の震災での体験を回想する方もおられました。

オープンハートの代表、菊池まゆみさんは、「朗読会に参加された方からの生の声が嬉しい。普段の活動や次回の朗読会への活力にし、今後も活動を続けていきたい」と話してくれました。

小さな団地の大きな「わ」

上山東アパートのサロン活動



大船渡町の災害公営住宅「上山東アパート」は、入居者11世帯の小さな団地ですが、集会所は、ほぼ毎日のように賑わいを見せています。

アパートの住民の一人、菊地早智子さんは、住民同士が集まる機会を作ってほしいという声を受け、平成27年1月から集会所を活用したサロン活動を開始しました。

朝10時になると、続々と入居者が集まります。ラジオ体操を



ラジオ体操、手芸、書道など、ほぼ毎日活動しています。

行うためです。体操前には血圧測定を行い、自分の体調に合わせて体操を行います。この血圧測定によって異変に気づき、通院を促し重症化を防ぐことが出来たこともあったそうです。

10月29日のサロンには7人が参加し、ころ柿と花の実を帽子に見立てた人形を作りました。この作品は大船渡町の文化祭に出展するそうで、「団体名は『上山東女子会』にしよう」と会話にも花が咲きます。

同じ仮設住宅に住んでいた菊地さんに誘われてサロンへ参加している岩脇節子さんは、「今は別の地区に住んでいます、近くにサロンがないので、誘ってもらえてありがたい。この住民さん、みんなに良くしてもらっています」と話していました。「このアパートは高齢者が多いので、見守りや集まる場が必要。住民たちで支え合いながら生活しています」と菊地さんは話していました。

知って、学んで、体験して

末崎小学校福祉教育出前講座



10月3日(水)に、大船渡市立末崎小学校の4年生20人を対象に、福祉教育出前講座を開催しました。同学年では、「手と心で読む」という点字を題材にした国語の学習を通して、色々な障がいがある人の生活を体験してみようと、講座の開催に至りました。また、同学校は、「一日ボランティア」を目標に、社会福祉推進校として、福祉教育を推進しています。



車椅子で段差を上がる場面を再現。介助役と車いす役、どちらも体験しました。

講座では、はじめに福祉について知っている言葉やイメージを挙げてもらいながら、身の回りにある福祉について皆で考えました。続いて、10人ずつに分かれて、手話と点字を体験しました。手話グループは、聴覚障害者のコミュニケーション方法を学んだ後に、「おはよう」、「ありがとう」などの基本的な挨拶と「末崎小学校」の手話表現を練習しました。点字グループで、視覚障害について学び、点字を打つ体験をしました。点字グループの児童からは「どうして濁音を表す点字は2マス使うのか」といった質問や、「クリスマスプレゼントに点字器をお願いして勉強したい」など、初めての点字に興味津々でした。

最後の車いす体験では、操作方法を学び、移動体験をしました。担任の先生は「今回は4年生のみで3つの体験をしたが、学年ごとに体験内容を変えるなどして、一つひとつ時間をかけて子どもたちが体験できるようにしたい」と話してくれました。

社会福祉協議会では、福祉やボランティアに関する福祉教育出前講座を随時開催しています。詳しくは、社会福祉協議会(27-0001)へお問い合わせください。

相手に伝える大切さ

ボランティア養成講座要約筆記教室

聴覚障がいの理解と新たなボランティア人材の開拓を目的に、10月24日から要約筆記教室を開催し、延べ7人が受講しました。要約筆記は、聴覚に障がいがある人のコミュニケーション支援として使われており、特に、話が分からない中途失聴者に必要とされています。話を確実に聞き取り、要点をつかんで短い文にまとめ、それを素早く書いて伝えます。

講師はボランティア団体の要約筆記「手つなぎ」(三浦素子代)が担当しました。

参加した高校生2人に、感想を聞いてみました。

大船渡高校2年

村上誌菜さん(17歳)

聴覚障がいのある人と関わった時に、何もできなかったことがあり、要約筆記を覚えてやりとりをしたと思い受講しました。

見やすい字の大きさや自分の癖字などを知ることができ、相手に伝える難しさが分かりました。現在は高齢者が多くなっていて、耳が遠い人に書いて伝えることもできると思うので、習ったことを使っていきたいです。

大船渡高校2年

関戸爽さん(17歳)

聴覚障がいの者のコミュニケーション方法は手話しか知りませんでした。要約筆記という方法もあることを知りました。初めはただ書いてるようにしか見えませんでした。話を正確にしましたが、やってみると、話を正確にまとめるのは難しく、省略記号を使いこなすことも大変でした。学んだことを、私が目指している特別支援教員に活かすことが出来るよう頑張ります。



省略記号や略語を使って筆記した文章をスクリーンに映し出し、聴覚障がい者に伝えます。

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている方ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日午前10時～午後3時
場所 大船渡市防災観光交流センター
2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は12月5日(水) (午前10時～正午)に開催します。

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。なお、11日については、お子様連れでも相談できます。

介護のしごと相談日程 (12月)

開催日	場所	時間
3日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
6日(木)	ハローワーク	午前9時～午後4時
10日(月)	Y・Sセンター	午前10時～午後3時
11日(火)	防災観光交流センター2階	午前10時～正午
17日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
27日(木)	ハローワーク	午前10時～正午

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん
電話 080-8201-0200

*ボランティア活動センター情報

災害ボランティア養成講座

災害ボランティア養成講座を開催します。受講を希望する人は事務局までお申し込みください。

日時 12月14日(金)
午前10時～正午(受付9時40分から)

場所 大船渡市働く婦人の家調理実習室

定員 30人

内容 講義 「災害時の助け合い活動」、
演習 防災グッズづくり、防災レシピ調理

参加費 無料

申込締切 12月12日(水)

「三鉄に乗ってクリスマス」ボランティア

子育てボランティアのびのびサポータースマイル主催の「三鉄に乗ってクリスマス」の運営ボランティアを募集します。参加を希望する人は事務局までお申し込みください。

日時 12月3日(月)午前8時30分～正午
場所 三陸鉄道南リアス線車両内
(三陸鉄道盛駅前集合)

内容 車両内の装飾、イベント各種補助等

申込締切 11月26日(月)

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ
平成30年12月

申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

*支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時間 午前10時～正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程 (12月)

開催日	場所
5日(水)	崎浜公民館
7日(金)	吉浜地区拠点センター
11日(火)	田代屋敷公民館
12日(水)	鷹生公民館
21日(金)	下中井公民館 綾姫ホール
25日(火)	猪川地区公民館



*子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

場所 大船渡市Y・Sセンター

つどいの広場イベント日程 (12月)

開催日	内容	時間
6日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時
7日(金)	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時
12日(水)	ともみんの健康相談	午前10時～正午
13日(木)	ハローワークお仕事相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
14日(金)	ママのためのヨガ教室	午前10時～正午
27日(木)	かすみんの栄養相談	午前10時～正午

望する人は事務局までお申し込みください。
当日参加も可能ですが、できる限り事前
申し込みをお願いいたします。

日時 12月21日(金) 午前10時～11時
場所 大船渡市Y・Sセンター
対象 18歳以上の方(持病がある方は予め
医師の承諾を得ていること)
定員 40人
内容 水中運動
持ち物 水着、水泳キャップ、ゴーグル、タオル等
参加費 無料(プール利用料別途)

筋力測定会

下記の日程で筋力測定会を開催します。
事前申込みは不要です。

日時 12月1日(土)
午前10時～正午、午後1時～3時
場所 大船渡市Y・Sセンター
参加費 無料

大船渡市Y・Sセンター=年末年始休館

12月28日(金)～1月4日(金)まではY・S
センター全館休館となります。

大船渡市Y・Sセンター ボイラー工事に伴う一部休止について

ボイラー更新工事に伴い、Y・Sセンター
館内設備の一部が使用できません。また、ト
レーニングルーム使用後のシャワー室使用も
できません。

休業期間 1月5日(土)～3月3日(日)
施設種類 プール、浴室、シャワー室

*赤い羽根共同募金情報

歳末たすけあい募金協力のお願い

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運
動の一環として地域住民やボランティア、
民生児童委員、社会福祉施設、関係機関・
団体の協力のもと、新たな年を迎える時期
に、支援を必要とする人たちが地域で安心
して暮らすことができるよう募金をお願い
するものです。ご理解とご協力をいただき
ますようお願いいたします。

運動期間 12月1日(土)～31日(月)

目安額 1世帯200円(各地域の行政連絡
員さんに取りまとめをお願いする
予定です。)

寄付・寄贈受入(10月分)

寄贈物品 株式会社小田島様(車椅子4台)

義援金の受入(10月分)

平成30年7月豪雨災害

立根小学校児童会様、2018 おおふなとボラ
ンティアフェスティバル実行委員会様、越喜
来小学校児童会様

平成30年北海道胆振東部地震災害

立根小学校児童会様、末崎小学校児童会様、
三浦のろこ様、赤崎小学校児童会様、盛小
学校児童会様

*Y・Sセンター情報

平成30年度第3回アクアビクス教室

下記の日程で水泳教室の体験も兼ねて、
アクアビクス教室を開催します。受講を希

今月の表紙

柏崎 福三郎さん(97歳)
マサ子さん(88歳)
寿さん・久美さん
紘治さん・冴さん
紘くん(3歳)
(三陸町吉浜在住)

大船渡市内でも珍しい4
世代同居の柏崎さん家族。
表紙には写っていません
が、猫も数匹飼っていて
楽しく賑やかな家族です。
この頃、福三郎さんの楽
しみは紘くんを遊びにつ
れていくことなそう。
家族一人ひとりがお互い
の活力の源になっている
理想の家族像のひとつで
すね。

- 12月号課題「壁」
- 締め切り
12月5日(水) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、添削する
場合もあります。投句者の
氏名にはフリガナをつけて
ください。

お詫びと訂正

10月22日発行のおおふなと社協
だより10月号No.299の掲載記事
「ふくし川柳」に誤りがありました
ことを、深くお詫び申し上げ、訂正
させていただきます。

誤) この頃は鏡を見ると母が居る
正) この頃は鏡を見ると母が居る

「ふくし川柳」 課題「雑詠」 富谷英雄 選

出無精が返事だけ行くデイサービス 立・田沢 博昭
覗くひと川面ゆらゆら鮭ゆらり 赤・志田 トミ
古い先のゴール見えても見えないふり 大・越 栄夫
気が付いた人生まだまだ奥がある 大・岩 栄夫

《佳作》
平成の 最後となりし 紅葉狩り 末・滝田 澄子

(評)平成の時代は、もうすぐ終わりを告げる。新元号が決まる
までは、全ての事が平成最後となる。心残りが無いよう十分に
「紅葉狩り」を楽しんでもらいたい。



輝き人

この 野直人さん (27歳)

立根町出身。平成24年4月より社会福祉法人厚生会立根保育園に保育士として勤務。保育士としてできることは何か自身に問いながら日々子どもたちと保育に向きあう。

子どもや保護者から 元気をもらいながら

●自分なりの地元貢献の仕方

高校時代、保育士養成校のパンフレットを見る機会があり、昔から親戚の子どもたちと遊ぶことが好きだったから、保育士を目指そうと思いました。保育士養成の専門学校卒業後、当時住んでいた盛岡市での就職も考えましたが、地元で貢献したい思いが強くなり、大船渡での就職を希望しました。

●子どもの成長が原動力

これまで、2歳児から年長クラスまでを担当してきましたが、振り返ってみて感じることは、子どもたちの成長が自分の力になっていくということです。スプーンを上手に持てなかった子が箸を持てるようになったり、食器を持って食事をするこ

にやりがいを感じます。

●男性保育士として

仕事をしていくうえで一番大切に行っていることは、子どもと遊ぶ時間です。怪我をしないよう安全に気をつけるだけでなく、やってみたい、動きたいという子どもたちの気持ちを引き出していくことも重要だと思っています。遊びを通して、子どもたちの成長を見つけていくこと、自立性を伸ばしていくこと、これが保育士として遊びに向き合うことだと思っています。

保育士の役割に性別は関係ないですが、ヒーローごっこや男の子ヘトイレの仕方を教えるときなどは、男性であることが活きてきます。職場の先輩方から保育士として必要なことを教えていただいたり、助けていただきながら、自分が必要とされている部分や得意な部分を活かして

●保護者と一緒に

子どもたちの保育に必要な環境をつくっていくことに加え、保護者の方々の助けにもなれたらと思っています。

子どもたちは、保育園と家庭での姿が同じとは限らず、例えば園では好き嫌いなく食べることもできるのに、家ではできないこともあります。思い通りにいかない育児に悩む保護者の方々は少なくありません。そんな保護者の方々の気持ちを理解し、一緒に考え、より力になることができたらと思います。特に、同性であるお父さん方の力になりたいと思います。



見つけて Happy

11月も後半になり、いよいよ寒くなってきましたね。そんな中、今月の社協だよりでなんと！発行から第〇〇〇号となりました!!「〇〇〇」に当てはまる数字とは？さがしてみてくださいね！